

第 116 回 東葛しぜん観察会

虫のくらしにズームイン

高野満里子（鎌ヶ谷市）

日 時：2015 年 8 月 2 日（日）9:30～12:00 天気：晴

場 所：21 世紀の森と広場（松戸市）

参加者：大人 17 名、子ども 20 名、指導員 20 名

担当指導員：藤田 隆 草野幸子 高野満里子

午前 9:30 より参加者の受付が開始され、9:40 から涼しい橋の下で挨拶、暑さ対策の注意事項などを説明した後、藤田さんの楽しい体操で緊張も解かれて 9:50 より 4 班に分かれて観察会を開始しました。まずは草はらでバッタの観察、ちょっと足を踏み入れただけでピョンピョンとバッタが飛び出してきました。ショウリウバッタの大きいのもオンプバッタの小さいのやら子ども達は捕まえるのに夢中です。都会の公園でもちょっとした水場と草地があれば、たくさんのバッタが暮らせることがよく解ります。下見の時に確認したみどりの里のヤナギの木には残念ながらカブトムシはいませんでした。地面に穴が何箇所も開いていて、その近くにたくさんのアブラゼミの抜け殻がありました。



ひまわり畑にはチョウトンボも飛び、ハス池のそばにはシオカラトンボやコシアキトンボも群れて飛び、敏捷なトンボも子ども達の網に捕獲されてしまいました。虫に触れなかった女の子も、最後にイトトンボを見つけ、自分で捕まえることができたのでお母さんもびっくりです。虫が好きになって環境も考えてくれる大人になってくれますように！！

11 時 10 分から 30 分間、ファールポイントで顕微鏡や虫メガネでいろいろなものを拡大して観察、観察会で捕まえた虫を観てもらい、パークセンターから提供してもらったカブトムシとの遊びと観察、虫に関連する絵本を見たりして、楽しいひと時がありました。その後、次回のご案内とアンケートを書いていただき、12 時に無事解散しました。子ども達のアンケートにはほとんど「楽しかった」という感想と今日のあなたの発見は？ という質問には「カマキリが飛ぶのがわかった」や「おどろいた」（何におどろいたのかな？）というのがありました。また、虫の苦手なお母さんがトンボの絵を描いてくれました。捕まえた虫は観察後、子ども達に逃がしてもらいました。猛暑の中、多くの指導員の方のご協力が無事に観察会を終えることが出来、担当者一同感謝申し上げます。

